

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせ下さい。

| | | | | |
|------------|--|-----------------|----|-------------------|
| ① 該当者 | 2013年 4月 1日から 2031年 3月末日までに当院を受診し、消化管に対する超音波検査を受けた患者さん | | | |
| ② 研究課題名 | 消化管に対する超音波検査の有用性と安全性に関する検討 | | | |
| ③ 実施予定期間 | 2016 年 10 月 ~ 2031 年 3 月 | | | |
| ④ 実施機関 | 独立行政法人国立病院機構 呉医療センター | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 桑井 寿雄 | 所属 | 呉医療センター 消化器内科・医長 |
| ⑥ 当院の研究責任者 | 氏名 | 同上 | 所属 | 同上 |
| ⑦ 使用する資料 | 収集する診療情報は以下の通りです。 採血結果・理学所見・内視鏡所見・CTなどの画像検査所見・病理所見・その他予後を含めた臨床経過等 ※上記診療情報は、研究結果の公表終了後速やかに破棄します。 ※この研究で収集する情報は、研究責任者および9名の研究分担者が厳重に取り扱います。 | | | |
| ⑧ 目的 | 腸管虚血の診断においては造影 CT 検査がゴールドスタンダードですが、腎機能低下例などの造影 CT 検査を行うことが困難な症例では、その診断に難渋することも少なくありません。ソナゾイド造影超音波検査は主に肝腫瘍の血流評価に広く用いられていますが、腸管の血流評価に用いられた報告は少ないです。この研究の主な目的は、腸管虚血が疑われた症例に対する、ソナゾイド造影超音波検査の有用性、安全性について検討することです。またそのほかの消化管疾患（腫瘍、炎症など）においても超音波検査は簡便で安全に施行できる検査として報告されているため、合わせて消化管疾患における超音波検査の有用性についても検討します。 | | | |
| ⑨ 方法 | ①に記載している対象となる方の、⑦に記載の診療情報を転記し、データの相関性を分析します。 | | | |
| ⑩倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2016 年 10 月 3 日 | | |
| | 院長承認日 | 2016 年 10 月 3 日 | | |
| ⑪公表 | 個人情報保護をうけて、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。 | | | |
| ⑫プライバシー | 本研究の結果を公表する際は、名前・住所・電話番号等の個人情報を含まない状態にします。 | | | |
| ⑬知的財産権 | 将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性があります。その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。 | | | |
| ⑭利益相反 | 本研究では、利益相反は一切生じません。 | | | |
| ⑮問い合わせ | 連絡先 | 桑井 寿雄 | 電話 | 0823-22-3111 (代表) |
| | 呉医療センター 消化器内科 | | | |